

地下鉄短信(第2号)

平成23年9月13日発行

編集 (社) 日本地下鉄協会広報部 責任者 櫻井勝彦
電話 03-5577-5182(代) FAX 03-5577-5187

- 記事 1 「ホームドアの整備促進等に関する検討会」の中間とりまとめ
2 福岡市、地下鉄七隈線の延伸計画の補助採択を国に要望
3 「8ライナー・メトロ7」ってなに？
4 当協会(理事・役員副会長)の改選について

○「ホームドアの整備促進等に関する検討会」の中間とりまとめ

国土交通省鉄道局と鉄道事業者による上記検討会で去る8月10日に中間とりまとめがなされました。その中のハード面の整備に関する内容を要約すると、大要次のとおりです。

- 1 利用者数1万人以上の駅で、ホームでの事故の8割が発生。
- 2 利用者数10万人以上の駅：ホームの状況等(混雑度や形状、事故の発生状況等)を踏まえ、ホームドア又は内方線付き点状ブロック(注)の整備を優先して速やかに実施する(点状ブロックは、概ね5年で整備)。
ホームドアの整備が困難な場合は、内方線付き点状ブロックの整備とともに、音響等により列車の接近を知らせる装置を設置する等の措置を可能な限り速やかに実施する。
- 3 利用者数1万人以上の駅：内方線付き点状ブロックの整備等を可能な限り速やかに実施する。
- 4 整備費用について、国は、地方公共団体の支援を求めるとともに、必要な支援を行う。
- 5 鉄道事業者は、転落防止対策の進め方に関する計画(方針)を公表する。

(注) 内方線付き点状ブロックとは、点状ブロックのレール側にレールと平行方向に凸条の線を設けたもの。

○福岡市、地下鉄七隈線の延伸計画の補助採択を国に要望

福岡市は、同市の2大核である天神地区と博多駅地区を結ぶため、同市交通局の地下鉄七隈線(同市橋本～天神南、12.0km、リニア・モータ式)を天神南からJR博多駅まで延伸する計画を決め、国の24年度予算において補助採択を求めることとしました。

7月には、福岡市地下鉄七隈線延伸促進期成会(会長：河部福岡商工会議所会頭)が

設立され、8月11日に、福岡市長と期成会会長が民主党、国土交通大臣等に補助採択の要望をしました。

七隈線延伸計画の概要は、次のとおりです。

延伸区間：天神南～博多駅（約1.4km）

工法：全線地下式（開削工法、シールド工法）

時間短縮効果：市西南部～博多駅、14分

建設費：約450億円

○「8ライナー・メトロ7」ってなに？

「エイトライナー・メトロセブン」と読みます。

東京の環状8号道路と環状7号道路の上下の空間を有効活用して、リニア・モーター方式の環状鉄道を作り、東京の放射状のJR線や民鉄線を串刺しに連結しようとする構想です。山手線と武蔵野線の間位置する環状交通手段です。

当協会のリニアメトロ推進本部が次世代リニアメトロシステム開発検討WGを設け、車両メーカー、電機メーカー、土木事業者等の会員会社の協力を得て、調査・研究を進めています。

○当協会（理事・役員副会長）の改選について

去る8月12日に当協会の第53回理事会及び第18回臨時総会が開催され、「役員を選任」を審議いたしました。殆どの会員の皆様には、突然の開催であつたことなどから書面表決により議決権を行使いただき、全員賛成で原案どおり議決され、8月12日付けで下記のとおり役員が交代いたしましたので、ご報告申し上げます。

ご就任役員 理事・副会長 奥 義 光（東京地下鉄株式会社代表取締役社）

〃 理事・副会長 野 澤 美 博（東京都交通局長）

ご退任役員 前理事・副会長 梅 崎 壽（東京地下鉄株式会社取締役相談役）

〃 前理事・副会長 金子正一郎（前東京都交通局長）

(注) 必要に応じ、社内へ転送、回覧などをお願いします。

配信先を変更又は追加した方がよい場合は、新しい配信先の職名、氏名及びメールアドレスをお知らせ下さい。

本短信について、ご意見をお寄せ下さい。

連絡先： k_sakurai@jametro.or.jp

以上